

平成24年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号

平成24年5月31日
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：ナシ
- 2 病害虫：ナシ黒星病
- 3 対象地域：中通り、浜通り
- 4 発生量：やや多い

予報の根拠

- (1) 本年5月の降水量は、1半旬及び4半旬に多く、本病の感染に好適であったと考えられる(表1)。
- (2) 本年5月下旬の果そう基部での発生ほ場割合は、中通り、浜通りとも平年より高く、発生程度も中発生以上のほ場が多かった(図1)。
- (3) 東北地方の1か月予報(5月25日仙台管区气象台発表)では、向こう1か月の降水量は平年並か少ない予想であるが、月の後半は平年同様に曇りや雨の日が多い見込みである。

表1 県内各地の降水量

	5月1半旬 降水量(mm)	平年比 (%)	5月4半旬 降水量(mm)	平年比 (%)
福島	90.5	767	18.5	109
白河	141.0	892	37.5	174
相馬	151.0	1094	52.0	259
小名浜	85.0	419	34.0	133

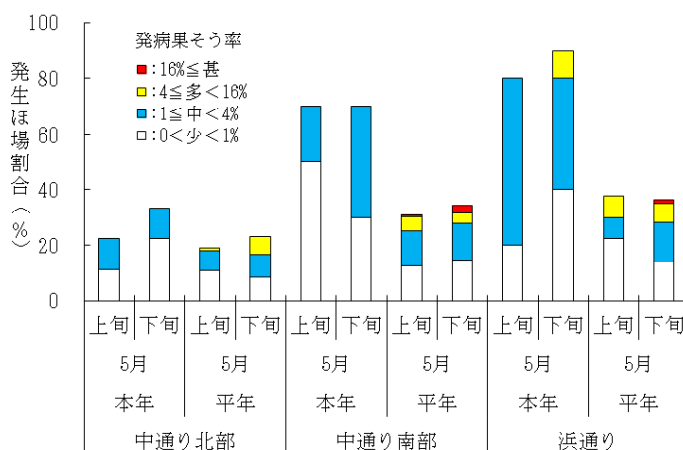


図1 果そう基部における発生状況(5月)

防除対策

(1) 耕種的防除

果そう基部での病斑は、見つけしだい除去し土中に埋めるなど適切に処分する。また、発病した葉や果実は、二次伝染源になるので、見つけしだい除去して適切に処分する。

(2) 薬剤防除

6月以降の防除は、天候の変化に留意し定期防除を確実に実施する。薬剤は下表のものを10日ごとにローテーションで使用する。散布液量は250リットル/10aを目安に、十分量をかけむらのないよう丁寧に散布する。

「幸水」では、7月(果実肥大期)に果実へ感染しやすくなるので、黒星病の発生が多い場合には、7月中旬にストロビルリン系剤(アミスター10フロアブル 1,000倍またはストロビードライフロアブル 3,000倍またはナリアWDG 2,000倍)を使用する。また、梅雨が長引き黒星病の多発が予想される場合は、7月下旬にオーソサイド水和剤80 1,000倍または、ベルコート水和剤1,000倍を使用する。なお、耐性菌の出現を防止するため、年間の使用回数をストロビルリン系剤(混合剤を含む)は2回以内とする。

表2 ナシ黒星病の主な防除薬剤(登録内容:平成24年5月16日現在)

薬剤名	成分名	希釈倍数	使用期間 (収穫前日数)	使用回数 の制限
オキシラン水和剤	キャプタン・有機銅	500倍	3	9
キャプレート水和剤	キャプタン・ベノミル	600倍	7	4
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩	1,000倍	14	5
ナリアWDG	ピラクロストロビン・ボスカリド	2,000倍	前日	3

※本表の薬剤は平成23年版福島県農作物病害虫防除指針において、ナシ黒星病に対する6～7月の定期防除剤として採用されているものである。

※薬剤を選択する際、選択した薬剤の使用回数と含有する有効成分の総使用回数(他剤を含む)に十分注意する。(キャプタンを含む薬剤の総使用回数;9回以内)

※薬剤を選択する際、収穫前日数に十分注意する。

※希釈倍数の下線は、登録上の希釈倍数に幅があるなどの場合で、防除指針で採用されている希釈倍数を示す。

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)までご連絡ください。 TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727